

広島市 ^{えのもと}榎本家文書 仮目録

広島県立文書館

平成30年(2018)3月

凡 例

1 本目録には、広島市 榎本家文書を掲載した。

2 目録の各項目は次のとおり。

請求記号 本文書群の群番号は(200206)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1→ 200206/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。表題だけで内容がわかりにくいものは、()を付けて適宜補った。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は()で記した。

作 成 資料の作成者・編著者名を記した。印だけのものは()で補った。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

備 考 資料の状態等、特に留意すべき点があれば適宜記した。

3 文書の配列は請求記号順とした。

4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

【文書群概要】

広島市 ^{えのもと}榎本家文書（請求記号 200206）

元陸軍少将榎本武臣の日露戦争「陣中日誌起稿録」と、位記・辞令・勲章類など。

出所 榎本家

出所地名 広島市

役職等 陸軍少将（現役最後は工兵大佐）

分量 66点（3冊，52通，1枚，4括，6個）

収蔵までの経緯 平成14年9月26日に最初の寄贈を受け，平成15年6月10日と平成18年も追加寄贈された。

年代 明治29年（1896）～昭和43年（1968）

歴史 榎本武臣（1880～1948）は鳥取県士族の出身。明治30年に陸軍中央幼年学校に入校，明治33年に陸軍士官候補生として工兵第二大隊へ入隊した。明治34年に陸軍士官学校を卒業，陸軍工兵として盛岡，新潟，岡山，千葉等で勤務し，日露戦争，韓国独立運動鎮圧，シベリア出兵に従軍した。大正15年（1926）7月に陸軍工兵大佐となった。昭和5年（1930）8月に千葉県鉄道第一連隊連隊長となり，昭和6年8月に陸軍少将に昇進して待命となり，予備役となった。

内容 榎本武臣が日露戦争の陣中に鉛筆で記した「陣中日誌起稿録」と，卒業証書・位記・辞令・勲章類が大部分。武臣の次男光臣（歩兵第60聯隊所属，昭和19年7月にビルマで戦病死）の略歴を含む。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2003.5.12 記述／数野文明）

（2017.9.19 改定／西村 晃）

200206/1 〔日露戦争ノ功ニ依リ功五級金鷄勲章並二年金及勲六等单光旭日章授与状〕	明治39. 4. 1	賞勲局総裁大給恒→陸軍工兵中尉榎本武臣	一紙・1通
200206/2 〔正八位叙位記〕	明治35.11. 7	宮内大臣田中光顕(宮内省印) →榎本武臣	一紙・1通
200206/3 〔正七位叙位記〕	明治41. 3.20	宮内大臣田中光顕(宮内省印) →従七位勲六等功五級榎本武臣	一紙・1通
200206/4 〔従七位叙位記〕	明治37.10.24	宮内大臣田中光顕(宮内省印) →正八位榎本武臣	一紙・1通
200206/5 〔陸軍工兵少尉任命状〕	明治35. 6.23	内閣総理大臣桂太郎(内閣印) →榎本武臣	一紙・1通
200206/6 〔陸軍工兵中尉任命状〕	明治37. 8. 2	内閣総理大臣桂太郎(内閣印) →陸軍工兵少尉榎本武臣	一紙・1通
200206/7 〔陸軍工兵大尉任命状〕	明治40.12.21	内閣総理大臣西園寺公望(内閣印) →陸軍工兵中尉榎本武臣	一紙・1通
200206/8 〔勲五等瑞宝章勲記〕	明治44. 5.26	賞勲局→陸軍工兵大尉正七位勲六等功五級榎本武臣	一紙・1通
200206/9 〔陸軍工兵大佐任命状〕	大正15. 7.28	内閣総理大臣若槻礼次郎(内閣印) →陸軍工兵中佐榎本武臣	一紙・1通
200206/10 〔従五位叙位記〕	大正12.11.30	宮内大臣牧野伸顕(宮内省印) →正六位勲四等功五級榎本武臣	一紙・1通
200206/11 〔陸軍工兵中佐任命状〕	大正12. 8. 6	内閣総理大臣加藤友三郎(内閣印) →陸軍工兵少佐榎本武臣	一紙・1通
200206/12 〔正六位叙位記〕	大正 7. 7.10	宮内大臣波多野敬直(宮内省印) →従六位勲五等功五級榎本武臣	一紙・1通
200206/13 〔陸軍工兵少佐任命状〕	大正 7. 6. 1	内閣総理大臣寺内正毅(内閣印) →陸軍工兵大尉榎本武臣	一紙・1通
200206/14 〔従六位叙位記〕	大正 2. 5.20	宮内大臣渡辺千秋(宮内省印) →正七位勲五等功五級榎本武臣	一紙・1通
200206/15 〔西伯利出兵ノ勤勞ニ依ル賜金授与状〕	大正14. 1. 1	陸軍省→陸軍工兵中佐榎本武臣	罫紙・1通
「陸軍省」罫紙使用			
200206/16 〔韓国暴徒鎮圧事件ノ功ニ依リ賜金授与状〕	明治41.12. 1	賞勲局総裁大給恒→陸軍工兵大尉榎本武臣	一紙・1通
200206/17 陸軍幼年学校生徒願	明治29. 2.20	鳥取県士族無職業寛三男榎本武臣 ^① 外2名→監軍山県有朋殿	一紙・1括(2通)
同内容2通を重ねて一括、黒筒入り			
200206/18 〔陸軍中央幼年学校入校命令〕	明治30. 7.23	監軍部→鳥取県士族榎本武臣	一紙・1通
黒紙筒入り			
200206/19 〔陸軍士官候補生辞令 工兵第二大隊入隊〕	明治33. 5.31	教育総監部→陸軍中央幼年学校生徒榎本武臣	罫紙・1通
「教育総監部」罫紙使用、黒紙筒入り			

200206/20 卒業証書(陸軍中央幼年学校)	明治33. 5.29	陸軍中央幼年学校長陸軍歩兵 大佐伊崎良熙→榎本武臣	一紙・1通
黒紙筒入り			
200206/21 卒業証書(陸軍士官学校)	明治34.11.22	陸軍士官学校長陸軍少将高木 作蔵@→工兵第二大隊士官候 補生榎本武臣	一紙・1通
黒紙筒入り			
200206/22 卒業証書(陸軍砲工学校普通科課程)	明治39.12.21	陸軍士官学校長陸軍少将藤井 茂太@→陸軍工兵中尉榎本武 臣	一紙・1通
黒紙筒入り			
200206/23 [旭日小綬章授与状]	大正 9.11. 1	賞勲局総裁児玉秀雄@外2名 (→榎本武臣)	一紙・1通
紙筒入り			
200206/24 [瑞宝章授与状]	明治44. 5.26	賞勲局総裁正親町実正@外2名 (→陸軍工兵大尉榎本武臣)	一紙・1通
白木箱入り			
200206/25 [单光旭日章授与状]	(明治39. 4. 1)	賞勲局総裁大給恒@外2名(→ 陸軍工兵中尉榎本武臣)	一紙・1通
「領票/写并領票記入ノ心得」(刊行物)と一緒に白木箱入り			
200206/26 [瑞宝章授与状]	昭和 2. 6.30	賞勲局総裁天岡直嘉@外2名 (→榎本武臣)	一紙・1通
紙筒入り			
200206/27 [单光旭日章授与状]	昭和43. 6. 29	内閣総理大臣佐藤栄作@外1名 (→故榎本武臣)	一紙・1通
紙筒入り			
200206/28 韓国併合記念章之証	大正元. 8. 1	賞勲局総裁正親町実正@外2名 (→陸軍工兵大尉榎本武臣)	一紙・1通
「韓国併合記念章を賜ハリタル者届出心得」(同日付け刊行物)と一緒に紙筒入り			
200206/29 [瑞宝章授与状]	大正 8. 6.28	賞勲局総裁児玉秀雄@外2名 (→榎本武臣)	一紙・1通
白木箱入り			
200206/30 [勲三等瑞宝章]			記章・1個
黒塗木箱「勲三等瑞宝章」入り			
200206/31 [勲四等旭日小綬章]			記章・1個
黒塗木箱「勲四等旭日小綬章」入り			
200206/32 [功五級金鷄章]			記章・1個
黒塗木箱「功五級金鷄章」入り			
200206/33 [勲六等单光旭日章]			記章・1個
黒塗木箱「勲六等单光旭日章」入り			
200206/34 [大礼記念章]	大正 4.11.		記章・1個
白木桐箱「大礼記念章」入り			
200206/35 三十七・八年戦役陸軍凱旋記念品(ケース)			ケース・1個
真鍮製ケースのみ, 中身なし			
200206/36 卒業証書(県立広島高等女学校本科課程卒業)	明治42.3.26	広島県立広島高等女学校長齋 藤鹿三郎@→鳥取県士族田村 なを	一紙・1通

200206/37 大正十年特命検閲ニ於ケル軍医部長状況報告 「陸軍」罫紙に手書孔版	(大正10.)		罫紙・1冊
200206/38 大正十年特命検閲ニ於ケル獣医部長状況報告 「陸軍」罫紙に手書孔版, 附表第一・第二あり	(大正10.)		罫紙・1冊
200206/39 陣中日誌起稿録 罫紙に鉛筆書	明治38. 1.(~ 2.26, 5.11~ 7. 9)	(榎本武臣)	罫紙・1冊
200206/40 〔工兵第二大隊附辞令〕 「陸軍省」罫紙使用	明治35. 6.23	陸軍省→陸軍工兵少尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/41 〔工兵第二大隊附辞令〕 「陸軍省」罫紙使用	明治37.12.22	陸軍省→工兵第二大隊附陸軍工兵中尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/42 〔工兵第二大隊副官辞令〕 「陸軍省」罫紙使用	明治39. 3.16	陸軍省→工兵第二大隊副官陸軍工兵中尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/43 〔賜一等給辞令〕 「陸軍省」罫紙使用, 「陸軍省印」朱印あり	明治39. 9.15	(陸軍省印)→陸軍工兵中尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/44 〔工兵第十三大隊副官辞令〕 「陸軍省」罫紙使用	明治40. 4. 6	陸軍省→工兵第二大隊附陸軍工兵中尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/45 〔陸軍士官学校教官辞令〕 「陸軍」罫紙使用	明治43.10.16	陸軍省→工兵第十三大隊副官陸軍工兵大尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/46 〔九月一日ヨリ同三十日迄工兵第一大隊隊附勤務辞令〕 「陸軍」罫紙使用	大正元. 8. 6	陸軍省教育總監部→工兵第十三大隊副官陸軍工兵大尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/47 〔陸軍将校生徒試験常置委員兼任辞令〕 「陸軍」罫紙使用	大正 3. 7. 3	陸軍省→陸軍士官学校教官陸軍工兵大尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/48 〔賜二等給辞令〕 「陸軍」罫紙使用, 「陸軍省印」朱印あり	大正 4. 3.23	(陸軍省印)→陸軍工兵大尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/49 〔七月三日ヨリ同月三十一日迄工兵第七大隊隊附勤務辞令〕 「陸軍」罫紙使用	大正 5. 6.28	陸軍省教育總監部→陸軍士官学校教官陸軍工兵大尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/50 〔賜一等給辞令〕 「陸軍」罫紙使用, 「陸軍省印」朱印あり	大正 7. 5. 3	(陸軍省印)→陸軍工兵大尉榎本武臣	罫紙・1通
200206/51 〔陸軍省人事局附被免辞令〕 「陸軍」罫紙使用	大正10. 8.29	陸軍省→陸軍工兵少佐榎本武臣	罫紙・1通
200206/52 〔工兵第八大隊附辞令〕 「陸軍」罫紙使用	大正 7. 6. 1	陸軍省→陸軍士官学校教官兼陸軍将校生徒試験常置委員陸軍工兵少佐榎本武臣	罫紙・1通

200206 広島市安佐南区 榎本家文書仮目録

200206/53 〔第一大隊長辞令〕	大正10.12.20	陸軍省近衛師団司令部→鉄道第一聯隊大隊長陸軍工兵少佐榎本武臣	罫紙・1通
「陸軍」罫紙使用			
200206/54 〔鉄道第一聯隊大隊長辞令〕	大正10.12.20	陸軍省→鉄道第一聯隊附陸軍工兵少佐榎本武臣	罫紙・1通
「陸軍」罫紙使用			
200206/55 〔鉄道第一聯隊附辞令〕	大正10. 8.29	陸軍省→陸軍工兵少佐榎本武臣	罫紙・1通
「陸軍」罫紙使用			
200206/56 〔新宿御苑宮内省宴会招待状〕	明治39. 4.28	(東宮大夫→陸軍工兵中尉榎本武臣殿)	厚紙・1通
金箔小口に金箔菊紋入り厚紙招待状, 「陸軍工兵中尉榎本武臣殿」と墨書した菊紋の押型付き封書入り			
200206/57 〔宇都宮市宮内省宴会招待状〕	明治42.11. 5	(宮内大臣→陸軍工兵大尉榎本武臣殿)	厚紙・1通
金箔小口に金箔菊紋入り表紙付き厚紙招待状, 「陸軍工兵大尉榎本武臣殿」と墨書した菊紋の押型付き封書入り			
200206/58 〔新宿御苑宮内省宴会招待状〕	明治39. 4.25	(宮内大臣→陸軍工兵中尉榎本武臣殿)	厚紙・1通
金箔小口に金箔菊紋入り厚紙招待状, 「陸軍工兵中尉榎本武臣殿」と墨書した菊紋の押型付き封書入り			
200206/59 〔陸軍士官学校大饗第一日招待状〕	大正 4.11. 1	宮内大臣波多野敬直→陸軍工兵大尉榎本武臣殿	厚紙・1通
金箔小口に金箔菊紋入り厚紙招待状, 菊紋の押型付き封書入り			
200206/60 〔赤坂離宮観菊会招待状〕	大正 8.11.13	宮内大臣波多野敬直→陸軍工兵少佐榎本武臣殿・同令夫人	厚紙・1通
金箔小口に金箔菊紋入り厚紙招待状, 「陸軍工兵少佐榎本武臣殿・同令夫人」と墨書した菊紋の押型付き封書入り			
200206/61 〔新宿御苑観桜会招待状〕	大正10. 4.14	宮内大臣牧野信頭→陸軍工兵少佐榎本武臣殿・同令夫人	厚紙・1通
金箔小口に金箔菊紋入り厚紙招待状, 「陸軍工兵少佐榎本武臣殿・同令夫人」と墨書した菊紋の押型付き封書入り			
200206/62 〔岡山陸軍饗饌場大饗第一日招待状〕	昭和 3.11. 1	宮内大臣一木喜徳郎→陸軍工兵大佐榎本武臣殿	厚紙・1通
金箔小口に金箔菊紋入り表紙付き厚紙招待状, 「陸軍工兵大佐榎本武臣殿」と墨書した菊紋の押型付き封書入り			
200206/63 〔榎本武臣軍用行李写真〕	平成15. 5.20		写真・1括(2枚)
行李の寸法を記した紙に挟んで一括			
200206/64 〔榎本光臣肖像写真複製〕	(昭和12.)		コピー紙・1枚
200206/65 〔榎本光臣略歴・部隊略歴及び送付添書〕	平成15. 5.14	千葉県健康福祉部社会福祉課 援護恩給室根本→榎本和臣様	コピー紙・1括(2枚)
200206/66 歩兵第六〇連隊部隊(隊歴)		第一五師団歩兵第六十連隊長 鈴田正忠	コピー紙・1括(5枚)